

学校規模適正化・適正配置に関する地域説明会(会議録)

1 日 時 令和7年7月23日(水)、18:30~20:00

2 開催場所 白山小学校 2階 少人数教室

3 参加者 21名

4 事務局

【教育委員会事務局】

高橋勝教育長、川崎浩二教育部長、笹村聡一総務課長
佐々木薫学校規模適正化推進室課長、岩渕勝也学校教育課長
鈴木隆光学校教育課主幹、前川恵美総務課長補佐
谷藤太郎学校規模適正化推進室長補佐

【市長部局】

村山明子保健福祉部次長、山崎強文化スポーツ課長、佐々木義友総務課長
菊池拓朗商工観光課長、奥村謙治建設部付課長、土橋照好防災危機管理課長

5 経過

(1)開会

(2)教育長あいさつ

【高橋教育長】

本日はお忙しい中、ありがとうございます。また、白山地域の保護者の皆様、地域の皆様には、白山小学校、大平中学校の教育の推進に対しまして、ご支援をいただいておりますことに感謝申し上げます。(中略)

当地区につきましては、白山小学校の統合、大平中学校の統合も計画しておりますので、保護者・地域としてどのように考えているかというご意見をいただきたいと思います。また、この地域のことだけでなく、市全体としての計画案について、ご質問・ご意見があれば遠慮なくおっしゃっていただきたいと思いますので、本日はどうぞよろしく願いいたします。

(3)職員紹介

(4)説明

(教育委員会事務局より説明)

(5)意見交換(質疑応答)

【参加者】

統合することに関しては、その通りだろうと思います。白山小学校も人数が少ないですし、統合先として、平田小学校ということについても、大平に住む私たちからしたら妥当なのだろうと思いますが、白山小学校は平田小学校に統合するけれども、釜石小学校のほうがいいという方もいらっしゃると思うので、そのところは柔軟に対応していただきたいと思います。

あとは、白山小学校は、複式学級ということもあって、修学旅行や5年生の宿泊研修を5、6年生が一緒に行っています。令和9年となったときに、令和9年の6年生は、5年生のときに修学旅行に行く予定なので、令和9年度に平田小学校と統合になったときに、修学旅行に行く人達・行かない人達ということも出てくる部分もあるかと思うので、そこを配慮していただくか、9年度ではなく10年度に統合という方に、長い目で見てもいいのではないかと思います。

【教育委員会事務局】

白山小学校は、計画案では平田小学校の統合、その先に大平中学校というところを目指してしまして、1つの学校区が必要だということで、大平中学校区を考えております。嬉石、松原地区は、基本は平田小学校に統合で、小学校は2.6km以上の地域については、市でスクールバスを担保したいと思います。ただ、親御さんや子どもさんの都合で、どうしても我々が設定した計画外の学校に通う必要が生じる場合には、教育委員会で保護者と十分に相談の上、対応したいと考えております。

修学旅行につきましては、これから白山小学校、平田小学校の校長先生方と相談の上、児童生徒に負担がないような方法を考えたいと思います。

【参加者】

通学の安全性などがまず1つ気になるところです。スクールバスの運行とありますが、エリアが広がるということで、時間がバラバラになってきます。中学校になると、更に部活動があったり、運行のタイミングも増えるといったことが出てくると思います。県交通のバス等の活用は考えているのでしょうか。

熊の問題もあるのですが、大平なので平田まで歩いていけないわけではないけれども、危ないなと思っています。これから詰めていくのだと思いますが、現在の方向性を教えていただきたいです。

【教育委員会事務局】

スクールバスの帰りの時間は、現在2、3便にしておりますが、学校や保護者とお話ししながら、柔軟に対応したいと思っております。今のスクールバスを運行する距離が概ね2.6

kmとなっておりますが、通学する道路状況等も考慮して、話をしながら進めていきたいと思
います。公共交通機関の利用については、大平地区から平田ニュータウンまでバスが出て
いますし、そういったところも含め、今後検討を進めていきたいと思います。

【教育委員会事務局】

熊の対策について。今年度も白山小学校では、熊が出没して休校措置をとったこともあ
りましたし、市内に熊が出没した際は、各学校で対応していただいておりますが、教育委員
会だけで熊の対策ができるものではありませんので、地域の皆さんや関係課と連携しなが
ら、可能な限りの安全確保を検討して対策を取っていくことにしかならないのかなと思っ
ておりますが、状況によっては今まで通り保護者への引き渡しなどで対応させていただくこ
とも必要になってくると思っております。

【参加者】

安全の関係で、白山小学校は高台に位置しているが、雨に対しては土砂崩れの危険性
があるということですが、平田小学校に関しては、非常に低い位置にありますが、津
波対応をどのようにお考えでしょうか。あとは、避難場所を教えてください。

それと平田小は結構前に建てられた校舎だと思うのですが、人数が増えることは問題な
いのか確認したいです。

【教育委員会事務局】

平田地区は、洪水土砂災害の場合は平田小学校が拠点避難所になっています。地震津
波の場合の拠点避難所は祥雲支援学校ということで、平田地区は棲み分けて運用してい
るところです。登下校の際に地震が発生した際のスクールバスの運行管理も含めて、指導
したいと考えております。

平田小学校の緊急避難場所については、裏山の君が洞地区の高台に避難する経路を
確定しており、年数回、近くのこども園と一緒に避難訓練を実施しております。一旦、君が
洞の高台に避難して、津波が落ち着いたら改めて平田公園のクラブハウスのほうに避難し
て、そこから自動車道を経由して、内陸のほうに避難できるルートを確保しています。

釜石地区ですと、釜石中学校も実は6mの浸水エリアに入っていて、鶴住居地区で
も、高台にはあるといえ、登下校は必ず浸水エリアを通るということで、釜石市内の小中学
生は、大人も含めて、地震津波の際は基本的に避難行動をとるということを徹底して、訓
練で身に付けたいと考えております。トータルで安全対策を考慮したいと思います。

【教育委員会事務局】

私からは建物のご質問にお答えいたします。

平田小学校は昭和61年の建築になっております。耐震性能はありますが、築約40年と

なりますので、老朽化していることは確かでございます。

普通教室は、各校、エアコンが設置されておりますし、昨年度は、特別教室にエアコンの設置、トイレは職員トイレも含めて洋式化工事を行っております。併せて、体育館の照明について、昨年度、LED化を済ませています。ただ、床、壁等については手つかずの状況ですし、屋根や外壁はいずれ手をつけなければならない箇所だと考えています。

【参加者】

白山の児童数が減少している状況から、いずれ統廃合はあり得るよね、という話をしたことがありました。母校がなくなることは寂しいですが、「学校は誰のためにあるのか」と考えたときに、「地域のためにあるのではなく、子どもたちのためにあるのではないか」ということに気が付きました。今いる子どもたちも含めて、これから入ってくる子どもたちのための学校であり、子どもたちがこれから育っていくために環境整備をすることは大人の役割なのではないかなと思っておりました。「うちの地域に学校がほしい」とかは大人のわがままであって、決して子どもたちのためにならないのだなという話が出ました。いずれ統合するとすれば、より良い方法で、専門家に委ねるしかないだろう。その中で地域として、何をどういうふうにバックアップしていくかが問題だろう。自分は今回の件については、地域としてはやむなしという表現が正しいか分からないが、子どもたちが良い教育を受けるにはそうだろうなと思いました。

今回、令和14年度までの説明はあったけれども、その後更に少なくなる傾向はあるのではないかと。新聞を見てもお悔やみの数が多くて、生まれてくる方が少ない。この中で、やはり子どもたちが適正な規模でやるためには統合はやむなしと考えていました。地域としてやるべきことをやりたい、協力したいと思っています。

【教育委員会事務局】

子どもたちのより良い学びの場の環境整備ということは、教育委員会としても大事に考えております。ただ、地域の協力なしには、環境整備というのは成しえないと考えています。統合あるなしに関わらず、子どもたちの学びの場として地域の役割は大変大きいと思っていましたので、引き続き協力し合いながら進めていければと考えています。8年間の計画の後の状況につきましても、去年1年間の釜石市内の出生数が109人で、今後増々少なくなる状況も見込まれますので、この推進計画は4年後の令和10年度に一旦見直します。その後のことも含め、地域やPTAの皆様と協議は継続したいと考えております。

【参加者】

学童育成クラブのニーズに応じた利用定数の増員や場所の確保などについても検討していただけるということですが、場所や人数もですが、今、家の近くの学童でも時間がギリギリの迎えになっているのが、平田小学校まで行くと間合合わない可能性が高いの

で、学童の開設時間も、広めに考えていただけたらと思います。土曜日や夏休みになると、朝も早い時間帯から対応していただかないと、難しい部分も出てくると思うので、検討していただけたらと思います。

【市長部局】

学童の件に関しては、運営主体である事業所と現在、協議を進めており、今年度の夏休み、長期休みから時間を延長してくださるということです。今後、学校統合になりますと、通学の距離、送り迎えの距離が伸びることも勘案しまして、柔軟に、朝は早めに、帰りはちょっと遅めにというところは協議を進めたいと思います。

【参加者】

「Ⅲ 学校統合を進める上で配慮する事項」の「2 児童生徒への配慮」について、白山小が移動する側になると思いますが、移動する側の方の子どもたちは不安があると思います。そのために計画的に、徐々に交流を深めていくと思いますが、どういう計画を考えていますか。

【教育委員会事務局】

統合に向けて生徒間、児童間の交流は非常に大事だと思っています。各学校の校長先生方に、交流活動を増やしていただくよう、委員会としても働きかけているところです。あわせて、統合する学校にそれぞれ、統合前の学校で児童を指導し、見守ってきた職員が配置できるよう県に要望しながら、統合をスタートできるように配慮していきたいと思っています。

【参加者】

「学校統合の期待される効果と課題」の「期待される効果の中」に、教育条件整備の改善、設備の充実みたいな、もっと子どもたちのために色んな条件を良くするといったことが書かれていないが、これはどういうことなのかなと思いました。先日、甲子中学校、大平中学校、釜石中学校の子どもたちのアンケートを読みました。トイレが汚い、タブレットを新しくしてほしい、給食をもっとおいしくしてほしい、バスの時間が何とかならないか等、本当に切実な問題が書かれていて、これがこの再編計画の中で解決するものの1つなのだろうなと私は思ったのですが、このような条件整備について、どのように再編で考えているのかというのが1つです。

もう1点は、複式の解消は喫緊の課題だと思うのですが、複式を解消するために再編となっておりますが、その前の段階で複式を解消するために釜石市はどういうことを進めようとしているのか。再編になってしまえば複式が解消になるのだろうけれども、いま複式があるところに対して、どのような手立てを組んで進めようとしているのかお伺いします。

【教育委員会事務局】

複式のこれまでの部分ですと、複式を有する学校については、県でも複式の学校訪問事業で、複式学級を有する学校の授業づくりを指導する指導主事が入り、授業づくりについて検証して、より良い複式授業の在り方を模索してきたところです。昨年度もそういった研修会をさせていただいた学校もあります。そういったところで、複式指導を充実させるような取組を行ってきています。

【高橋教育長】

私から補足です。これまでも複式のある学校はありましたが、県で教員の加配がありました。例えば、東日本大震災に伴う加配教員などを生かしながら、できるだけ複式にならないように、単式での授業ができるように取り組んできたところですが、東日本大震災から大分経って、加配教員が減って、なかなか単式にはできない状況になってきています。

それから、教育委員会として、複式の解消が本当はもっと早く進められればよかったのかなと思いますが、このままでは駄目だということで、こういう計画で複式の解消を図りたいとお示しいたいということです。

【教育委員会事務局】

私からは環境整備についてです。

トイレについては、昨年度は平田小学校、今年度は甲子小学校で大規模な工事をする予定です。トイレの洋式化は予算が結構かかりまして、なかなか複数校を1年でやる状況にはございませんが、子どもたちの教育環境を向上させることは使命ですので、計画的に整備していきたいと考えております。また、1人1台タブレットを配付しておりますが、来年度更新することとしており、校内の通信環境も改善する取組を図る予定としておりました。

【参加者】

いろんな整備投資にお金がかかると思いますので、すぐにはいかないとは思いますが、再編をして学校をより良くするという発想であれば、是非とも必要なことなので、再編する学校は設備を充実させてほしいという意見です。学校の先生方の数は義務標準法(公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律)で決められているので、簡単に増やせない状況です。加配を取れるという教育長のお話でしたが、なかなか取れない状況であるときに、どうすればいいのかというのが非常に大きな課題だと思います。

最後の児童数・生徒数のところに、規模数から学校の先生の数も入れてほしいと思います。各学校に先生が何人いるのか一目でわかるのでぜひ、入れてほしいなという意見です。

【教育委員会事務局】

計画に入れる文言については、こちらのほうで調整・検討したいと思います。

【参加者】

白山小は平田小に行くのですが、ジャージは平田小に合わせなければならないのでしょうか。出費がかさむことになりますが、そういった面の配慮はあるのでしょうか。

【教育委員会事務局】

教育委員会としては、なるべくご家庭に負担がない形で進めたいと考えております。統合後に入学する1年生は運動着を揃えることも可能かもしれませんが、2年生以上は、これまで使ってきた運動着を使いながら2種類の運動着で学校生活を過ごすということでもよいのではないかと考えております。これにつきましては、統合に向けた準備委員会で、地域や保護者の方と協議しながら決めていきたいと思っております。

【参加者】

令和8年度に白山小学校に入学予定の子どもは、1年間だけ白山小学校で過ごして令和9年度で統合となると、児童数が3人から急に二十何人と増えるので、とても心配です。9年度に統合になるなら8年度から平田小学校へ学区外通学というのは許可になるのでしょうか。

【高橋教育長】

そこは、もう少し検討させてください。ただ、基本的な考えとしては、まだ白山小学校が残っていますので、現在のところ白山小学校に入学ということになるかと思いますが、そういう意見も踏まえて検討させていただきたいと思えます。

【高橋教育長】

今のところに付け加えて、今、教育委員会では学区外を認めている部分があります。例えば、小学校1年生ですと、保護者が働いていて帰っても家の人誰もいないので、祖父母宅が近いときには、そちらに帰るということで学区外を認めていたり、いろんな条件がありますので、学区外に該当するかどうかご相談をさせていただければと思います。

【参加者】

唐丹中学校と釜石中学校の統合について、唐丹のアンケートでは、唐丹から釜石中学校に統合することについて、どのような声があったのか。

もう1つは、唐丹中学校と大平中学校ではだめなのか。足し算してみると、複式学級の解消が可能ではないかと思いますが、どうして、唐丹中学校と釜石中学校が一緒になるのか。

あと1つは、平田小学校の入り口が通学路としては狭いのではないかと、津波等があった

場合の避難道路としては不適ではないかと思うのですが、その点についてお答え願います。

【教育委員会事務局】

まず唐丹中学校の統合の件についてです。こちらは唐丹中学校のPTAの皆さんに意向を調査し「大平中学校がいいか」それとも「釜石中学校がいいか」と伺ったときに、釜石中学校の選択が多かったということが理由になります。令和14年度に釜石中学校に市内4校を集めますので、そうであれば大平に行ってまた釜石中学校に、2回統合することになりますから、負担を考えると最初から釜石中学校のほうが良いという意見が大勢を占めたことからこのような形にさせていただいております。

【教育委員会事務局】

平田小学校の入り口が狭いというお話ですが、物理的にすぐに拡幅するというのは難しいですが、警察、学校、地域、市と一緒に避難経路を検討した経緯があります。今はこども園のほうから君が洞の高台に避難していますが、1つ案として出たのが、国道45号をそのまま運動公園のクラブハウスに避難できないか検討されました。その時に学校の西側に歩道が整備されていないことが一番のネックになりました。大地震・大津波警報が出れば、国道45号が通行止めになり車が通れないからいいのではないかと、という意見もありましたが、警察の意見で、大地震に気づかない車がある程度いて、ある程度のスピードで市内に向かう車や、国道からクラブハウスのほうに上っていく車との接触の可能性があるということで、東側の歩道をそのままクラブハウスに避難するという案は立ち消えたのですが、そのあと、三陸国道事務所と掛け合まして、まだ設計段階なのですが、西側に歩道を設置できないか検討していただいています。そういった物理的な避難経路の整備も含め、子どもたちの安全を確保したいと考えておりますので、引き続き一緒に検討していただければと思います。

【参加者】

前回の説明会では、白山小の行先は平田小か釜石小という話でした。今回、平田小に絞られて、令和9年に統合する案ですが、具体的に確定するのはいつでしょうか。急に来年から統合しますと言われても、準備に時間もかかりますので、目途を教えてください。

【教育委員会事務局】

今月、市内11か所で説明会を開き、来月末までパブリックコメントを実施します。

あとは、8月上旬に市議会議員全員協議会で市議会議員の皆様以案をお示して、意見を承る時間をとります。それを踏まえ、今年10月くらいを目途に計画として成立して、その計画に沿って動きたいと考えております。

【参加者】

学区内の分けについて質問です。白山小学校は平田小学校と釜石小学校の丁度中間ということで、どちらに行くかは選べるのでしょうか。兄弟がいてそっちのほうに行きたいということは可能でしょうか。

【教育委員会事務局】

基本は平田小学校としています。親御さんの都合、登下校の関係、あとは、子どもさんの都合でどうしても、釜石小学校でなければならないということであれば、学区外通学を認めるかも協議したいと思います。ただ、その場合でも事情によって上のお子さんは平田小学校で下のお子さんは釜石小とかは、認めるのは難しいと思っていました。兄弟は必ず一緒の学校ということで対応したいと考えています。

【教育委員会事務局】

通学に関して、例えば、平田小学校にはスクールバスで通う方が、希望により釜石小学校に行くとなった場合は、釜石小学校への通学手段は申し訳ないのですが、保護者の方に対応していただきたいと思っております。1つの地域から2方向にスクールバスを運行することは今現在考えていませんので、ご了承ください。

【参加者】

家が近いので、できれば釜石小学校が希望ですが、まとめて移動すると考えると白山小の統合先は平田小というのは理解しました。

家庭や兄弟の状況等で、その時になってみないと判断できないと思うので、学区外通学について相談したいとなった時にはどこに相談したらいいですか。

【教育委員会事務局】

就学・学籍関係は学校教育課が担当しておりますので、ご相談いただければと思います。市の教育委員会です。電話でも直接いらしていただいてもよろしいです。よろしくお願いいたします。

【教育委員会事務局】

最後、何かございませんでしょうか。

【出席者】

(なし)

【高橋教育長】

(あいさつ)

(6)閉会